

タイトル 担い手金融リーダー・TAC合同会議開催

 JA名 JA三重信連

1 動機 (経緯)	<p>JAが大規模農業経営者からの信用事業における信頼を得、農業融資の拡大に繋げることを目的に、農業者との接触機会の一番多い全農TACとの協力体制を打診しました。全農にも農機・肥料農薬等の物販には金融支援が不可欠であることを理解され、合同会議というかたちで意見交換・研修会の場を設定することになりました。</p>
2 概要	<p>定例開催している担い手金融リーダー会議とTAC担当者会議の開催日を同日開催とし、それぞれの部門の会議後に合同会議を開催しました。(平成22年1月15日)</p> <p>その中では、信連・全農の事業取り組み状況の報告に加え、JAバンク次期中期計画における“農業メインバンク機能強化”および事業間連携の取組みについて理解を求めました。</p> <p>さらに、金融リーダーとTACおよび各JA間で情報交換するため、7～8名にグループ編成してグループディスカッション(分科会)を行いました。</p>
3 成果 (効果)	<p>今回は、それぞれJAの信用部門、営農・経済部門の直接の担当者がどのような考えをもっているかの情報収集を目的としたものでしたが、今後の施策につなげる上では参考となるものも多かったと思われます。</p> <p>また、他のJAの信用および営農・経済担当者の意見を聞き、自JAで今後の業務改善に考えを巡らしてもらいたいとの意図も含めてグループディスカッションの場を設定しました。</p>
4 今後の 予定(課題)	<p>大部分が信用事業部分から営農・経済部門への協力を求める内容のものとなっていますが、営農・経済部門へは地道な働きかけが必要なことを認識しました。</p> <p>今回の意見集約を踏まえ、次年度以降個別JAごとに具体的な実施策を検討してまいります。</p> <p>合同会議については、今後も継続的に開催していくことを確認しております。</p>